

# カグラベーパーテック「オートコンポ」

## 苦境の3セクを再生

青森・上北郡

### 縦貫タクシー燃料コスト大幅減

下北半島の付け根、青森県 合理化を理由に切り離れた赤上北郡。「縦貫タクシー」字のタクシー事業をよみがえ(本社・上北郡七戸町、上野 させたユニークな会社だ。久明社長、44台は、かつて 野辺地と七戸間20キロを運行の「3セク」鉄道会社が経営するローカル線・南部縦貫鉄

道は1997年の廃線後も「(株)南部縦貫」としてタクシー事業を継続していた。しかし東日本大震災が打撃となり、2013年、売却が決定する。赤字事業の買い手はな

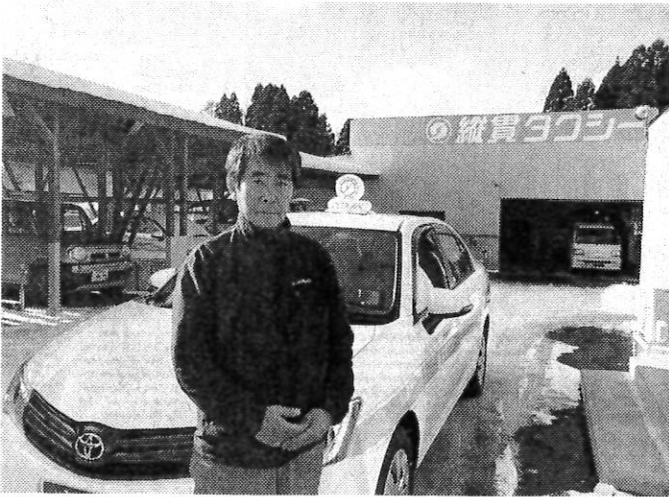
「プロパンガスを卸業者から直接購入するので、オートコンポ導入後、燃料代は3割低下し月間38万円も浮いている。結果、経営に余裕が生まれ、乗務員の賃金確保のほか設備投資や内部留保もできるようになった。今、タクシー会社の経営に希望を持っている」と上野社長の表情は明るい。

黒字化を掲げた上野社長が真っ先に目を付けたのは燃料コスト。すでにLPガスとガソリンのバイフューエルにも利用されている。部活動改造したトヨタ・カローラの遠征などでLPガスのマイ

新車16台を代替投入。燃費低減が即効、さらに3台を追加し、ジャンボタクシー(ハイエース)5台もLPガス仕様に改造した。

並行して「オートコンポ」の導入に着手。2015年、片道30キロ超のスタンド通いに

「震災後の苦しい時に経営を始め、再生できた。今度は地域の観光やビジネスの発展に貢献してタクシーが活躍する場を広げていきたい」と力を込めた。



LPガスで走るカローラと上野久明社長。「疲弊する地方タクシーのイメージを覆したい」と語る